

## 災害時における電気自動車（EV）の活用（電力のデリバリー）について ～池内精工株式会社と横須賀市・日産グループによる災害時の電力供給等に関する協力体制～

横須賀市は、池内精工株式会社で設置予定の自家発電設備を利用し、災害時の電気自動車（EV）を活用した新たな取り組みを実施します。

### 1. 概要

池内精工株式会社は新たに設置する自家発電設備から、災害時に、横須賀市の保有するEVに電力供給できる体制を整備します。

横須賀市は、電力供給を受けたEVから電力を建物に供給する装置（V2H）を備えている行政センター等（事務室の一部の照明や情報関連機器の電源確保）に供給することやガソリン供給が限られた状況下での移動手段として利用することで、災害対策活動に活用します。

また、日産自動車の販売会社である神奈川日産自動車株式会社、日産プリンス神奈川販売株式会社の市内全店舗（計7店舗）では、店舗にある試乗用EVから災害時にスマートフォンの充電など地域住民へ電力供給できる体制を整備します。さらに、これらのEVの電気容量が不足した場合には、池内精工株式会社の自家発電設備から電力供給を受けます。

・池内精工株式会社	自家発電設備（中圧導管（※）を使ったガス発電機）による電力供給
・横須賀市	災害時の業務に活用
・神奈川日産自動車株式会社、 日産プリンス神奈川販売株式会社	試乗用EVを活用した地域住民への電力供給

※中圧導管：地震に十分耐えられる構造で、基本的にガスの供給を停止することがないもの

### 2. その他

池内精工株式会社は、一般社団法人都市ガス振興センター（経済産業省資源エネルギー庁から受託）の「天然ガスの環境調和等に資する利用促進事業費補助金」を活用して自家発電設備を整備します。整備後、本市と「災害時等における電力の供給等に関する協定」を締結（本年12月頃）する予定です。

また、EV用の充電器を新たに複数基設置し、災害時の対応に備えるとともに、通常時は、通勤車両の電動化を促進するため、自動車通勤している従業員が職場で充電を行う環境づくり（ワークプレイスチャージング（WPC））の実施を目指します。

なお、本市は、日産自動車株式会社と連携協定「横須賀EV創生 project」を締結しています。その中の取り組みで、「災害時におけるEVの活用等、EV普及が安全・安心な街づくりにつながることを発信し、横須賀市のブランド力向上を図る。」ことを掲げています。